



第30回ASTAP総会の結果報告

総務省 国際戦略局 通信規格課 国際情報分析官

とだ こうじ
戸田 公司



1. はじめに

アジア・太平洋地域におけるICT分野の標準化に関する地域協力を確立し、グローバル標準化活動に貢献すること、ICT分野の研究、分析を通じてAPT (Asia-Pacific Telecommunity) メンバー間における知識と経験を共有すること等を目的とするASTAP (APT Standardization Program) の第30回総会が2018年5月21日から25日にかけて、APT本部のあるタイ (バンコク) で開催された。

今回のASTAP総会には、APT加盟国38か国の内、18か国の主管庁代表と、企業・団体を含め、約120名が参加した。我が国からは総務省をはじめ、関係企業・団体から計25名が参加した。

2. インダストリーワークショップの開催

会合初日 (21日) には、IoTをテーマとする「インダストリーワークショップ」が開催された。ワークショップは、次の3つのセッションにより構成され、我が国3名を含む8名からプレゼンテーションが行われた。

- ・セッション1 IoTアプリケーションとサービス
- ・セッション2 新規IoT技術
- ・セッション3 IoTによる農業とエネルギー

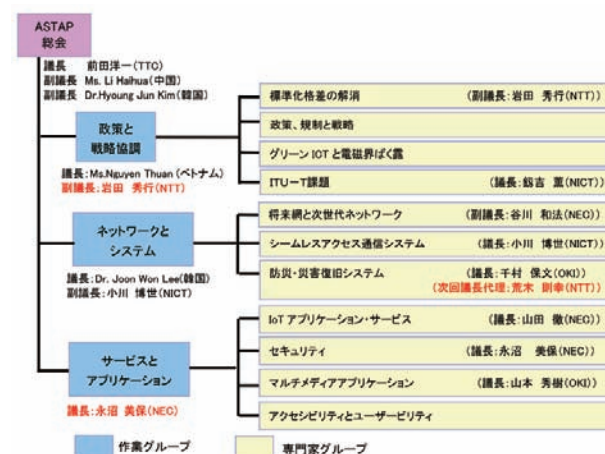
ワークショップの詳細プログラムは表1のとおりであり、我が国からはセッション1ではトヨタIT開発センター、セッション2では慶應義塾大学、セッション3ではNTTからプレゼンテーションが行われた。

ワークショップでは活発な質疑応答が行われ、その結果と

して、今後、プレゼンテーション内容に関して、関連する専門家グループで取り扱うことが推奨された。特にIoT専門家グループにおいて、今後、産業IoT、交通事故記録、V2X、農業などに関するユースケースや要求条件、ビジネスモデル等について、取り扱うテーマ候補として取り上げられた。

3. ASTAPの体制

ASTAPの体制とそれぞれの役職者を図に示す。ASTAPの検討体制は11の専門家グループと、技術分野ごとに専門家グループを取りまとめる3つの作業グループで構成されている。各専門家グループからの成果文書は作業グループでの承認を得た上で、プレナリにおいて最終審議が行われる。



■図. ASTAP組織体制 (敬称略)

■表1. ASTAP インダストリーワークショップ プログラム

Program of ASTAP Industry Workshop, Internet of Things (IoT)	
(Session 1) IoT Applications and Services (Chair : Dr. Seungyun Lee, ETRI, Korea (Rep. of))	
●1-1 UMW's Journey into Industrial IOT : Building Blocks and Architecture, Mr. Ghazali Juhari (UMW Equipment, Malaysia)	
●1-2 Road Accident Record in Asia and its Benefit for Standardization, Dr. Chang-Yi Luo (Toyota Info Technology Centre, Japan)	
●1-3 Development and application of IoT in China, Ms. Haihua Li (CAICT, China)	
(Session 2) New and Emerging IoT Technologies (Chair : Mr. Kaoru Kenyoshi, NICT, Japan)	
●2-1 Emerging Technologies in IoT and its implications, Mr. Aftab A. Siddiqui (Internet Society, Australia)	
●2-2 Reducing urban garbage generation using the information force, Dr. Jin Nakazawa (Keio University, Japan)	
●2-3 Blockchain security in ITU-T, Dr. Heung Youl Youm (Chairman of ITU-T SG17, Korea (Rep. of)) *Remote Presentation	
(Session 3) IoT and Agriculture and Energy (Chair : Ms. Nguyen Thi Khanh Thuan, MIC, Vietnam)	
●3-1 Digital Transformation of Agriculture, Mr. Stephen Cheon (SK Telecom, Korea (Rep. of))	
●3-2 Introduce of IoT solutions and related promotions for agriculture, Dr. Hideyuki Iwata (NTT, Japan)	



4. 主な審議結果

4.1 V-HUBの勧告化

防災・災害復旧システム専門家グループ（議長：千村氏（OKI））がまとめた、「災害時における車両を使用した情報通信システム」（“Information and Communication System Using Vehicle During Disaster”（V-HUB））について、勧告化プロセスにかけることが承認された。

V-HUBとは、地震や津波、台風など局地的な自然災害で通信網が使用できなくなった地域において、自動車に搭載した通信機器をインフラとして使用するシステムである。本勧告案においては、技術要件と機能アーキテクチャについて規定したものであり、我が国を中心に、APT各国の参加者と共に検討してきたものである。

APT勧告化のためには、今後6週間のAPT勧告化手続きの間に、①加盟国の25%以上（10か国以上）の賛成があること、②反対する加盟国が2か国以上無いこと、または政策・規制の問題を理由とした反対意見が1か国以上から出ていないことが条件となっており、条件を満たせば、その後10月に開催が予定されているAPT管理委員会に諮られ、管理委員会での承認が得られれば正式な勧告となる。

本勧告案については、前回第29回ASTAP総会においても合意されていたものであるが、APT勧告化プロセスにかけたところ、賛成9か国、条件付反対1か国で勧告に至らなかった。今回合会においては、反対票のコメントを踏まえ修文を行い、再びAPT勧告化プロセスにかけることが承認されたものである。勧告化されれば、APT2件目の勧告となる。

4.2 SDNと同期技術に関する最終レポート

将来網と次世代ネットワーク専門家グループにおいて、「将来トランスポートネットワーク技術」に関する2件の最終レポート案がNTTより提示された。1件は、トランスポートネットワークの定義、アンケート調査によるAPT各国の現況分析、SDNの標準化動向、APT加盟国への提言等を整理したSDN関連文書の最終案であり、もう1件は、同期技術概要及びその標準化、アンケート調査によるアジア地域の電気通信事業者の共通要求条件とユースケース、提言等を整理した同期技術に関する最終案である。審議の結果、2件とも最終レポートとして承認された。

4.3 電子廃棄物及びレアメタルについての標準化活動状況報告の最終レポート

グリーンICTと電磁界ばく露専門家グループにおいて、電子廃棄物及びレアメタルについての標準化活動状況報告が取りまとめられた。本レポートは、電子廃棄物が急速に増加し

ている背景を踏まえ、ベストプラクティスとして電子廃棄物管理やレアメタルの回収に関する我が国を含むいくつかの国の取組事例を示したものであり、他の電子廃棄物管理システムの開発に取り組んでいるAPT加盟国への参考となるものである。

4.4 APT地域におけるスマートで持続可能な都市のユースケースに関する最終レポート

IoTアプリケーション・サービス専門家グループ（議長：山田氏（NEC））において、スマートで持続可能な都市のユースケースと情報通信技術に関する報告が取りまとめられた。これは、APT地域のスマートシティに関するユースケース等を収集して取りまとめたものであり、APT地域におけるスマートシティの構築を計画している国へのガイドラインとなることが期待されている。我が国のスマートごみ管理システムや、防災と事故防止のための歩行者監視システム等の事例について本レポートに盛り込まれている。

4.5 交通事故情報収集等に関するレポート作成の合意

IoTアプリケーション・サービス専門家グループにおいて、インダストリーワークショップでも紹介された交通事故情報収集についてのレポート作成の提案があり、新規作業項目として承認された。今後、APT加盟国から広く情報収集する必要があり、各国に対して質問票を送付することとされ、その方法・内容等についてさらに検討していくこととなった。2020年開催の第32回ASTAP総会でのレポート完成を目指す。

4.6 持続可能な都市に向けてのレポート作成の合意

IoTアプリケーション・サービス専門家グループにおいて、SDGs目標11（住み続けられるまちづくり）で定められた10のターゲットのうち、APT加盟国が高優先度と認識しているものを特定し、そのターゲットに向けた具体的な取組みについて情報収集及び考察を行うレポートの作成に関する新規作業項目及び各国への質問票の送付がNECから提案され、合意された。2020年開催の第32回ASTAP総会でのレポート完成を目指す。

4.7 移動体通信におけるQoEについて

政策、規制と戦略専門家グループにおいて、移動体通信の品質評価の計測方法、サンプリング手法に関する新規作業項目提案及びQoE（Quality of Experience）に関するアンケート提案がベトナムより提出された。これは、APT地域におけるQoE測定法や政策についての情報収集を行い、ベストプラクティスとしてのレポートを取りまとめるものであり、新規作業項目として合意され、アンケート実施についても合意された。アンケート結果を踏まえ、次回第31回ASTAP総会でのレポート完成を目指す。



4.8 作業グループ及び専門家グループの議長・副議長の交代

サービスとアプリケーション作業グループ議長に永沼氏（NEC）、政策と戦略協調作業グループ副議長に岩田氏（NTT）が就任した。また、防災・災害復旧システム専門家グループについて、千村氏（OKI）の退任に伴い、荒木氏（NTT）が議長代理に就任した。（図 ASTAP組織体制を参照。）

4.9 主な出力文書

最終プレナリで承認された主な出力文書は表2のとおりである。3つの作業グループ及びインダストリーワークショップに関して、1件の勧告草案、6件のレポート、4件の質問表、5件のリエゾン文書が承認された。

5. 次回開催予定等

次回第31回ASTAP総会は、2019年6月に予定されている

アジア太平洋ICT大臣会合の日程を考慮し、2019年5月または7月に中国にて開催予定となった。WTSA-2020に向けたAPT準備会合の第1回会合と併催の見込みである。また、ASTAP会合初日に開催される予定のインダストリーワークショップは、半日の開催で計画することとなった。なお、ワークショップの運営のため、プログラム委員会を設立することとなり、日本からは成瀬氏（NICT）がプログラム委員会に参加することとなった。

次々回第32回ASTAP総会については、日本がホストする可能性を含めて、2020年1月～3月頃に開催する方向で、今後検討することとなった。今後、WTSA-2020に向けたAPT準備会合と併催することも視野に入れて検討を進めていく予定である。

最後に、本会合出席者の皆様、対処検討等でご協力いただいた関係者の皆様に、御礼申し上げます。

■表2. 最終プレナリで承認された主な出力文書

政策と戦略協調作業グループ	Questionnaire on the Regulatory matter and Implementation Practices of Quality of Experience in Mobile Communication (2019/3締切)
	Status Report on Standardization Activities for e-Waste and Rare Metals
	Report of Conformity and Interoperability Event
ネットワークとシステム作業グループ	APT Report on SDN-based Network Control and Management in Future Transport Networks
	APT Report on Precision Time and Frequency Synchronization in Future Transport Networks
	Liaison Statement to ITU-T SG2
	Draft Recommendation on Specification of Information and Communication System using Vehicle during Disaster
サービスとアプリケーション作業グループ	APT Report on Smart Sustainable City use cases and Information & Communication Technologies in APT Region
	Questionnaire on Deployment of Interactive Multimedia Services on IPTV/CATV (2nd Edition) (2018/12/15締切)
	Questionnaire on status of the APT countries' mobile accessibility (2018/9/30締切)
	Questionnaire on High-priority Targets in Goal 11 of SDGs for Achievement of Smart Sustainable Cities (2019/3/31締切)
	Liaison Statement to ISO/ IEC JTC1/SC35 WG5
	Liaison Statement to ITU-T SG 9
	Liaison Statement to ITU-T SG 16 on IPTV/CATV Survey
インダストリーワークショップ	Liaison Statement to ITU-T SG 16 on S2ST Harmonization
	Report of the ad-hoc group on Industry Workshop (during ASTAP-31)



■写真. ASTAP集合写真（APTホームページより抜粋）